

## 10 外国語活動

### I 本県が目指す外国語活動の授業

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する外国語活動

### II 教材研究の充実

#### 外国語活動における教材研究のポイントとその具体

##### 小4「給食の希望献立を決めよう (Let's Try! 2 Unit 7)」の例

##### 子供の視点から

###### 育成を目指す資質・能力を確認する

・前単元までの学習の様子やこれまでに蓄積した評価の記録を基に、児童の実態把握に努める。その上で、各学校で定めた学年ごとの「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標や年間指導計画等と照らし合わせ、本単元で育成を目指す資質・能力を確認する。

###### 本単元での具体

・前単元では、児童は自分のことについて動作を交えながら考えを伝え合うことができた。本単元では、好みを伝える表現や語句などを聞く活動や練習を設け「サポートを受けて、自分や相手のことについて質問したり質問に答えたりする」という4年時の到達目標達成を目指す。

###### 児童の興味・関心を把握する

・児童の興味・関心に沿った題材を選ぶために、児童がどのようなことに興味をもち、どのようなことをやってみたいと思っているか等、日頃の様子や他教科の学習活動等を通して把握する。

###### 本単元での具体

・給食の時間を楽しみにしていたり、給食の献立をリクエストできることを伝えた時に喜んでいたりした姿から、児童は意欲的に好きな給食のメニューを尋ねたり答えたりするだろう。

##### 教材の視点から

###### コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを具体的に設定する

・「何のために、誰と、どのように話すか」など、コミュニケーションを行う目的意識をもったり、意欲を高めたりすることができるように、児童にとって身近で簡単な題材を選び、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを具体的に設定する。

###### 本単元での具体

・単元の目標を「みんなが希望する献立をリクエストするために、好きな給食のメニューについて質問したり質問に答えたりする」と設定することで、友とやり取りする目的意識や意欲をもってコミュニケーションに取り組むことができるようにする（目的：みんなが希望する献立をリクエストするために）「場面：教室場面で」「状況：ペアで自分の好きな献立のイラストを見せながら」。Today's Goal については、目的などを含めた表現で設定する。

##### 学習の過程の視点から

###### 「理解する→練習する→言語活動を行う（複数回）」学習過程を構想する

①言語材料について理解する：視覚情報を用いながら、児童にとって身近で簡単な事柄について「聞く」場面を設け、語句や表現の意味と音声のつながりを理解する活動を行ったり、どのようなやり取りをしたらよいかというモデルを見たりする場面を設定する。

②言語材料について練習する：チャンツや歌、ゲームなどを通して、言語材料を聞いたり話したりして練習する場面を設定する。

③言語活動を行う：言語材料を用いて実際に友とやり取りをする場面を複数回設定する。

###### 本単元での具体

①教師の好きな給食メニューについて話を聞く場面を設ける。児童の「自分も伝えたり尋ねたりしたい」という意識を高めつつ、質問の仕方や答え方、食べ物名など言語材料についての気付きを促す。

②What do you like?などの言語材料を、児童が聞いたり話したりする場面を設定する。その後、ペアで自分が伝えたい内容を英語でやり取りする練習を行う。

③イラストを用いながら、好きなメニューについて児童が互いに質問したり答えたりする。教師やALTは、見本となるペアの姿をクラス全体に紹介したり、多くの児童が困っている語句や表現を取り上げて練習したりする機会を設ける。その後、児童はペアを替えて言語活動を再び行うことで、コミュニケーションを図ることの楽しさを味わうことができるようにする。

### Ⅲ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善例











【単元名】給食の希望献立を決めよう (Let's Try! 2 Unit 7) (全5時間)

【単元の目標】給食の希望献立を決めるために、好きな給食のメニューについて質問したり質問に答えたりする。(話すこと [やり取り] ウ)

【単元の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
給食メニューの言い方, What do you like? や I like ~.などを用いて,好きな給食のメニューを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	給食の希望献立を決めるために,好きな給食のメニューについて質問したり質問に答えたりしている。	給食の希望献立を決めるために,好きな給食のメニューについて質問したり質問に答えたりしようとしている。

【主な学習活動と評価計画】 (☆…「記録に残す評価」,♡…「学習改善につなげる評価」)

時	○学習活動  児童の意識 (  端末とクラウドの活用例)	評価の観点			評価方法	授業改善の視点 取組の具体例
		知	思	態		
1	<p>【ねらい】好きな給食のメニューについて,教師とALTのやり取りを聞くことで,「自分も伝えたい」「友に聞いてみたい」という願いをもち,言語材料について理解する。</p> <p>○教師とALTのやり取りを聞く。</p> <p> ALTの先生は唐揚げが好きなんだ。唐揚げもいいけど私はカレーライスが好きだな。みんなは何が好きなのか尋ねてみたい。</p>	♡	♡	♡	<p>コミュニケーションを行う目的や場面,状況等を理解する</p> <p>みんなが希望する献立をリクエストするために,多くの友の好きな給食のメニューを尋ねてみたいという願いをもてるようにします。</p>	
	<p>Unit Goal: みんなが希望する献立をリクエストするために,好きな給食のメニューについて質問したり質問に答えたりしよう!</p> <p>○再度教師とALTのやり取りを聞く。</p> <p> “ワッドゥユーライク?”って好きなものを聞いているのかな。</p>				♡写真やイラストなどを用いながら,やり取りを聞く場面を設けて,児童の様子から,内容を理解①しているかを確認す	
2 3 4	<p>【ねらい】給食メニューの言い方や,好きなものを質問したり答えたりする表現に慣れ親しみ,教師のサポートを受けながら友やALTと好きな給食メニューについてやり取りする。</p> <p>○チャンツやゲームなどを通して,語句や表現等を練習②する。</p> <p> デジタル教材を使い,児童が興味や必要に応じて個々に音声を読み取り話したりできるようにする。</p> <p>○好きな給食のメニューについて友やALTとやり取り③する。</p> <p> What do you like? School lunch? Curry and rice! My No. 1!</p> <p> (Aさんの好きなメニューはカレーなんだな) I like fried chicken.</p> <p> Fried chicken? Me, too. It's delicious.</p>	♡	♡	♡	<p>聞いたり話したりして表現に慣れ親しむ</p> <p>聞く活動やゲーム等を通して,十分に聞いたり話したりする練習する場を設けます。</p> <p>伝え合う → 練習する → もう一度伝え合う</p> <p>「友とやり取りする」→「語句や表現等を練習する」→「相手を替えて再度やり取りする」の流れで学習し,コミュニケーションする楽しさや達成感を味わえるようにします。</p> <p>♡児童のやり取りの中で,単元の目標の達成に必要な語句や表現等の発話や,言語活動を通して自分のことを伝えたり,相手意識をもちながら主体的に伝えようとする姿をほめたり,認めたりする。</p>	
5	<p>【ねらい】単元を通して慣れ親しんできた表現を用いて,友やALTと好きな給食のメニューについてやり取りすることで,リクエストする献立を決める。</p> <p>○主食や主菜など自分の担当するものについて,好きな給食のメニューを質問したり質問に答えたり③する。</p> <p> What do you like? Oh, you like fried chicken, too!</p> <p> 唐揚げが一番人気。おかずは唐揚げをリクエストしよう。</p>	☆	☆	☆	☆児童のやり取りの様子から,評価規準に沿って,児童名簿等にチェックを入れたり,特徴的なことはメモをとったりしておく。その際,必ずしも全児童について記録に残す必要はなく,1年間を通して全児童について,観点ごと各領域においてバランスよく記録に残す。	

※波線部は左ページの学習の過程との対応を示している